

巻 頭 言

医学部長 久光 正

昭和大学は医学部、薬学部、歯学部、保健医療学部の 4 学部を擁する医療系総合大学である。しかし歴史的には、昭和 3 年上條秀介博士らにより創設された、昭和医学専門学校（現 医学部）を源としている。上條秀介博士は相手（患者）の立場になって真心を尽くす医療人を育成するという建学の精神を「至誠一貫」という言葉に集約された。医学部学生諸君はこの精神を理解し、受け継ぎ、医療に実践できる医師に育っていただきたい。

近年の生命科学と科学技術の進歩は著しく、求められる医学の知識量と技術力は飛躍的に増大している。このため、医学部の 6 年間で全てを習得する事は困難となった。そこで、我が国では医学教育の大改革がおこなわれた。医学生が卒業までに必ず習得すべき知識・技術・心得を医学教育モデル・コア・カリキュラムにまとめ、全学習時間の約 7 割をこれらの習得にあて、残る約 3 割を各大学の個性をもった学習にあてることになったのである。そして、6 年間の学習の結果、卒業後には自らが必要な知識や技術などを選択し、自らの力で学習できる能力を備えるという目標が加えられた。本学においてもモデル・コア・カリキュラムに準拠した優れたカリキュラムが作られている。実習を重視し、各学年で将来なるべき医師像に順次近づくよう実習時間が用意されている。最終学年の臨床実習は医療チームの一員となって診療にあたるクリニカルクラークシップである。現在の医療は多職種のスタッフがチームを作って診療にあたるチーム医療を特長としている。より良いチーム医療が実践できるよう、本学では 1, 3, 4, 5, 6 年次に学部連携教育を行っている。1 年次の全寮生活もまた、チーム医療に必須であるコミュニケーション学習の場であり、実習の一つであると捉えている。

本シラバスは学生諸君がこの 1 年間に学習する内容を冊子にまとめたものである。学習単位はユニットと称し、各ユニットは綿密な計画の下に配置されている。あるユニットを理解して初めてあとのユニットが理解できるのである。ユニットごとに一般目標 GI0 : (general instructional objectives)、行動目標 SBOs : (specific behavioral objectives) が示されている。そのユニットの到達目標が一般目標であり、それを達成するためのステップが行動目標である。行動目標がすべて達せられればそのユニットの目標は達成される。諸君が学習する上で極めて重要な道標が本シラバスである。シラバスを読むと 1 年間の学習の後、諸君が一段一段、目標の医師像に近づくことがわかると思う。

医学を修めるには多くの努力が必要である。しかし、本学学生諸君には十分な資質がある。大いなる学習成果が得られることを期待する。